

東北地方 1 か月予報

(7 月 7 日から 8 月 6 日までの天候見通し)

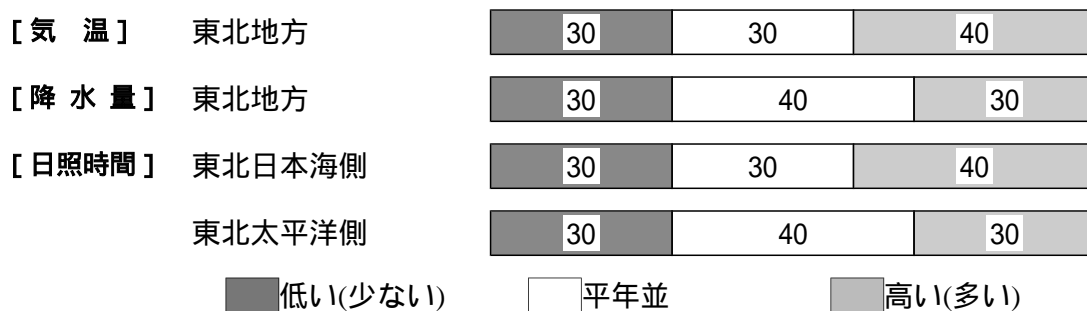
平成 2 4 年 7 月 6 日
仙台管区气象台発表

< 予想される向こう 1 か月の天候 >

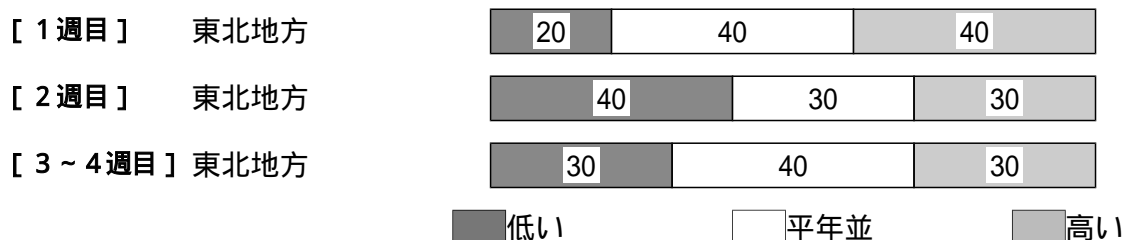
向こう 1 か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

前半は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。後半は、天気は数日の周期で変わるでしょう。
週別の気温は、1 週目は、平年並または高い確率ともに 4 0 % です。

< 向こう 1 か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率 (%) >



< 気温経過の各階級の確率 (%) >



< 予報の対象期間 >

1 か月 : 7 月 7 日 (土) ~ 8 月 6 日 (月)
1 週目 : 7 月 7 日 (土) ~ 7 月 1 3 日 (金)
2 週目 : 7 月 1 4 日 (土) ~ 7 月 2 0 日 (金)
3 ~ 4 週目 : 7 月 2 1 日 (土) ~ 8 月 3 日 (金)

< 次回発表予定等 >

1 か月予報：毎週金曜日 1 4 時 3 0 分 次回は 7 月 1 3 日
3 か月予報：7 月 2 5 日 (水) 1 4 時

< 参考資料（平年並の範囲等） >

（１）30 年平均値（向こう 1 か月の平均気温、降水量、日照時間と 1 週目、2 週目、3 ～ 4 週目の平均気温）

| | 気 温 () | 降 水 量 (mm) | 日照時間 (時間) | 気 温() | | |
|-----|------------|---------------|--------------|--------|------|----------|
| | | | | 1 週目 | 2 週目 | 3 ～ 4 週目 |
| 青森 | 22.0 | 116.0 | 166.5 | 20.1 | 21.2 | 22.9 |
| 深浦 | 22.0 | 152.7 | 162.8 | 20.3 | 21.3 | 22.9 |
| むつ | 20.3 | 145.3 | 139.3 | 18.5 | 19.5 | 21.2 |
| 八戸 | 21.0 | 124.8 | 156.2 | 19.0 | 20.2 | 22.0 |
| 秋田 | 23.6 | 177.5 | 159.8 | 21.9 | 22.9 | 24.5 |
| 盛岡 | 22.5 | 176.6 | 135.8 | 20.9 | 21.8 | 23.4 |
| 大船渡 | 21.8 | 184.8 | 139.9 | 20.1 | 21.1 | 22.6 |
| 宮古 | 20.7 | 150.4 | 141.5 | 18.8 | 19.8 | 21.6 |
| 仙台 | 22.9 | 170.4 | 129.3 | 21.2 | 22.2 | 23.8 |
| 石巻 | 22.1 | 133.4 | 147.7 | 20.5 | 21.4 | 22.9 |
| 山形 | 24.0 | 153.8 | 155.8 | 22.4 | 23.3 | 24.9 |
| 新庄 | 23.1 | 185.6 | 147.2 | 21.5 | 22.4 | 24.0 |
| 酒田 | 24.1 | 191.2 | 178.6 | 22.3 | 23.4 | 25.1 |
| 福島 | 24.4 | 154.5 | 134.5 | 22.7 | 23.6 | 25.2 |
| 若松 | 24.2 | 169.2 | 174.2 | 22.7 | 23.5 | 25.0 |
| 白河 | 22.8 | 215.8 | 131.5 | 21.4 | 22.2 | 23.5 |
| 小名浜 | 22.7 | 145.0 | 161.3 | 21.2 | 22.1 | 23.3 |

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

（２）1981 ～ 2010 年のデータに基づいた向こう 1 か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

| | 気温平年差() | 降水量平年比(%) | 日照時間平年比(%) |
|--------|-------------|-----------|------------|
| 東北地方 | -0.3 ～ +0.9 | 85 ～ 115 | 90 ～ 112 |
| 東北日本海側 | -0.4 ～ +0.8 | 82 ～ 111 | 88 ～ 110 |
| 東北太平洋側 | -0.2 ～ +0.9 | 82 ～ 113 | 89 ～ 115 |

（３）この予報期間の 1 週目、2 週目、3 ～ 4 週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

| | 1 週目 | 2 週目 | 3 ～ 4 週目 |
|--------|-------------|-------------|-------------|
| 東北地方 | -0.7 ～ +0.9 | -0.9 ～ +1.1 | -0.3 ～ +1.1 |
| 東北日本海側 | -0.6 ～ +0.6 | -0.8 ～ +0.9 | -0.5 ～ +1.0 |
| 東北太平洋側 | -0.8 ～ +1.0 | -0.9 ～ +1.2 | -0.2 ～ +1.1 |

< 参考資料（利用上の注意） >

（１）気温（降水量）等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の 3 つの階級で予報します。階級の幅は、1981 ～ 2010 年の 30 年間に於ける各階級の出現率が等分（それぞれ 33 %）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。

（２）予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった 10 % 以下や 60 % 以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30 %、40 %）の確率しか付けられません。

（３）晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。なお、単に多い（少ない）と表現した場合には対象期間の 2 分の 1 より多い（少ない）ことを意味します。

東北地方 1 か月予報解説資料

平成24年7月6日 仙台管区气象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月（7月7日～8月6日）：

前半は、梅雨前線や低気圧の影響で、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。後半は、高気圧と低気圧の影響を交互に受け、天気は数日の周期で変わるでしょう。

1週目（7月7日～7月13日）：

気圧の谷や湿った気流の影響で雲が広がりやすく、期間のはじめは雨の降る日があるでしょう。気温は、平年並または高い確率ともに40%です。

2週目（7月14日～7月20日）：

梅雨前線や低気圧の影響を受けるでしょう。東北日本海側では平年と同様に曇りや雨の日が多く、東北太平洋側ではオホーツク海高気圧からの湿った気流の影響もあり平年に比べ曇りや雨の日が多い見込みです。

気温は、各階級の確率の偏りは小さい。

3～4週目（7月21日～8月3日）：

高気圧と低気圧の影響を交互に受け、天気は数日の周期で変わるでしょう。

気温は、各階級の確率の偏りは小さい。

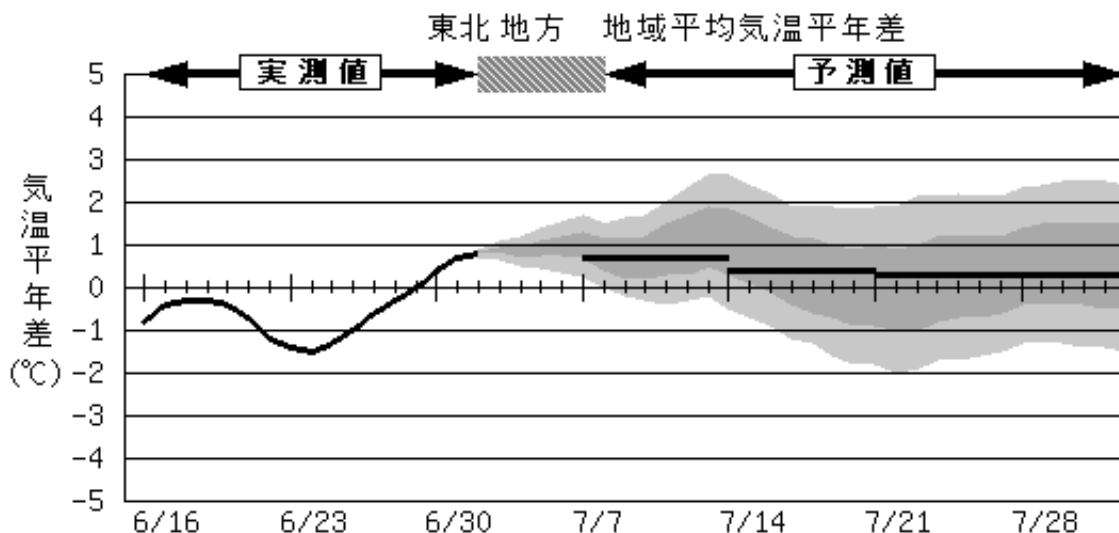
主な気象官署の、向こう4週間の平年の天気出現日数（日）

| 青 森 | | 秋 田 | | 盛 岡 | | 仙 台 | | 山 形 | | 福 島 | |
|------|-----|------|------|------|------|-----|------|------|------|------|------|
| 晴れ | 降水 | 晴れ | 降水 | 晴れ | 降水 | 晴れ | 降水 | 晴れ | 降水 | 晴れ | 降水 |
| 12.3 | 7.9 | 11.4 | 10.1 | 10.4 | 10.9 | 9.4 | 11.6 | 12.2 | 10.5 | 10.0 | 10.9 |

晴れ日数は「日照率40%以上の日数」、降水日数は「日降水量1mm以上の日数」。

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と予測資料

地域平均気温平年差の予測資料では、週別の平均気温は、1週目は平年を上回り、2週目、3～4週目は平年付近の予想となっている。2週目はオホーツク海高気圧の影響を考慮し、低めに考える。



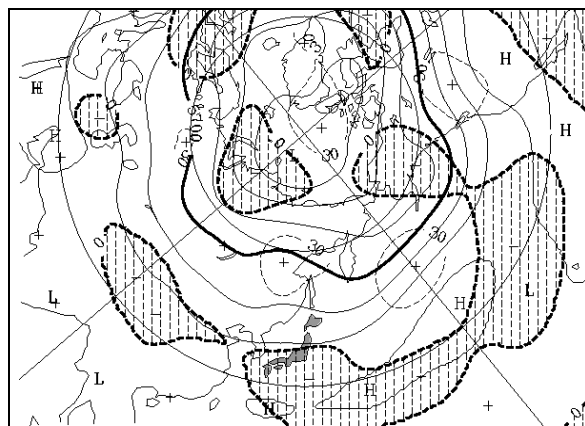
- ・ グラフの値は全て7日間平均値であり、横軸の値は平均期間の中日。
- ・ 予測期間には7日間平均気温の予想に対する信頼の程度が40%の幅（濃い陰影の範囲）と、信頼の程度が70%の幅（濃い陰影と薄い陰影の範囲）を表示。
- ・ 水平な3本の実線は、予報期間の1週目、2週目、3～4週目の平均を表す。
- ・ ハッチの期間は、発表日の観測値が確定していないため、観測値と予測値に基づいて結んでいる。

3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500hPa 予想天気図)

1か月平均: 亜熱帯ジェット気流は平年より南を流れ、日本の南東海上は広く負偏差で、太平洋高気圧の本州付近への張り出しは弱い。沿海州の北を中心とする正偏差が北日本を覆う。期間のはじめを中心に暖かい空気におおわれるが、オホーツク海高気圧の影響を受け一時低温となる時期がある見込み。

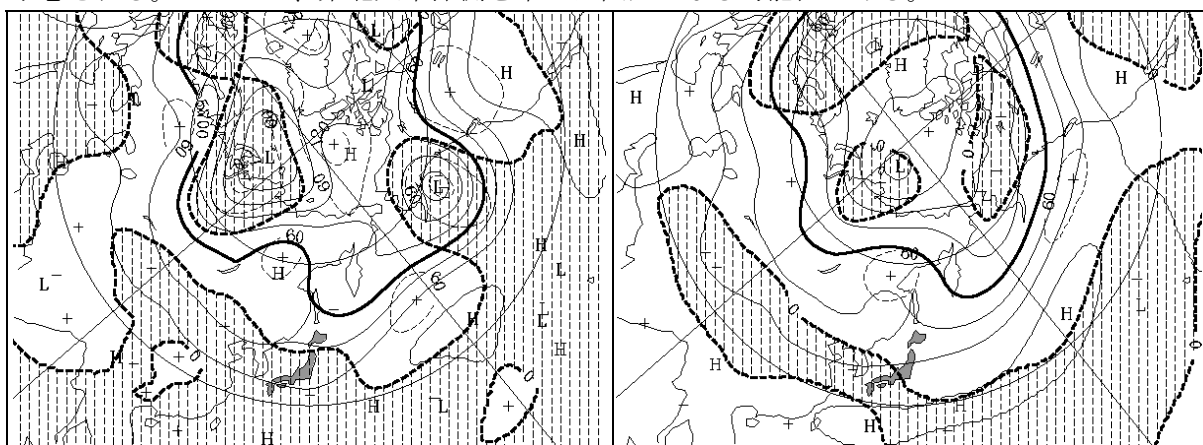
1週目: 本州以南は負偏差、北海道以北は正偏差。梅雨前線は日本の南へ南下する。東北地方は気圧の谷や湿った気流の影響を受けるが、期間の中頃以降は暖かい空気におおわれ、高温傾向が予想される。

2週目: 朝鮮半島付近は負偏差、日本の東海上は正偏差で、本州付近は西谷傾向。梅雨前線は1週目よりも北上する。また、沿海州付近は気圧の尾根となっており、オホーツク海高気圧の出現が予想される。このため、東北太平洋側を中心に低温となる可能性がある。



1か月平均 500hPa 予想天気図

図の見方は1, 2週目と同じ。ただし偏差の間隔は30m。



1週目平均 500hPa 予想天気図

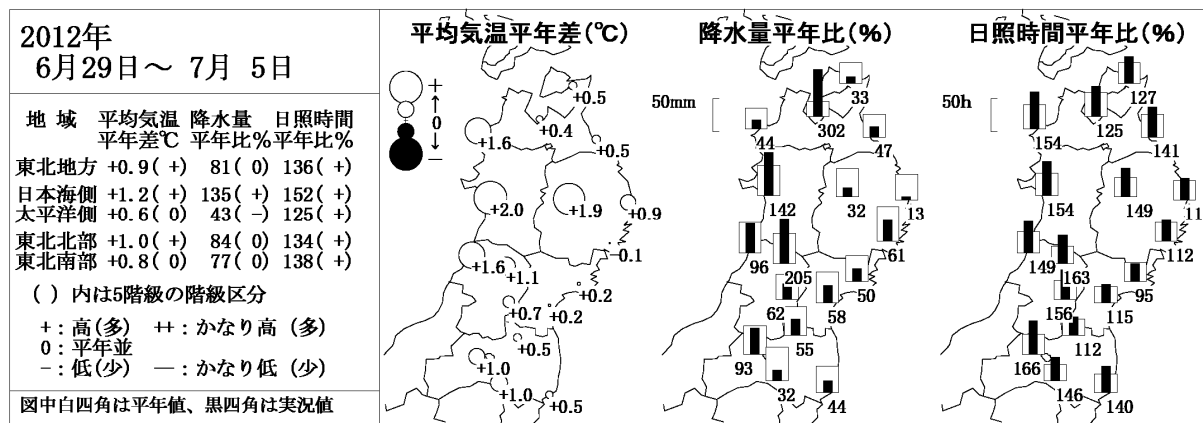
2週目平均 500hPa 予想天気図

実線は等高線（間隔 60m）、点線は偏差（間隔 60m）。陰影部は負偏差で一般に寒気に対応し、白抜きは正偏差で一般に暖気に対応する。

4. 最近1週間（6月29日～7月5日）の天候の経過

期間のはじめは高気圧におおわれて晴れた。その後は低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多かったが、期間の終わりには日本付近が気圧の尾根となり晴れた日があった。この時期としては晴れた日が多かったため日照時間が多くなった。2日は低気圧が関東の南岸を東に進んだ影響で、福島県で大雨となったところがあった。5日は寒気を伴った気圧の谷の影響で、東北日本海側を中心に大雨となった。

平均気温は東北日本海側で高く、東北太平洋側で平年並。降水量は東北日本海側で多く、東北太平洋側で少ない。日照時間は東北地方で多い。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）